

# タイ経済指標斜め読み

(2026年5月版)

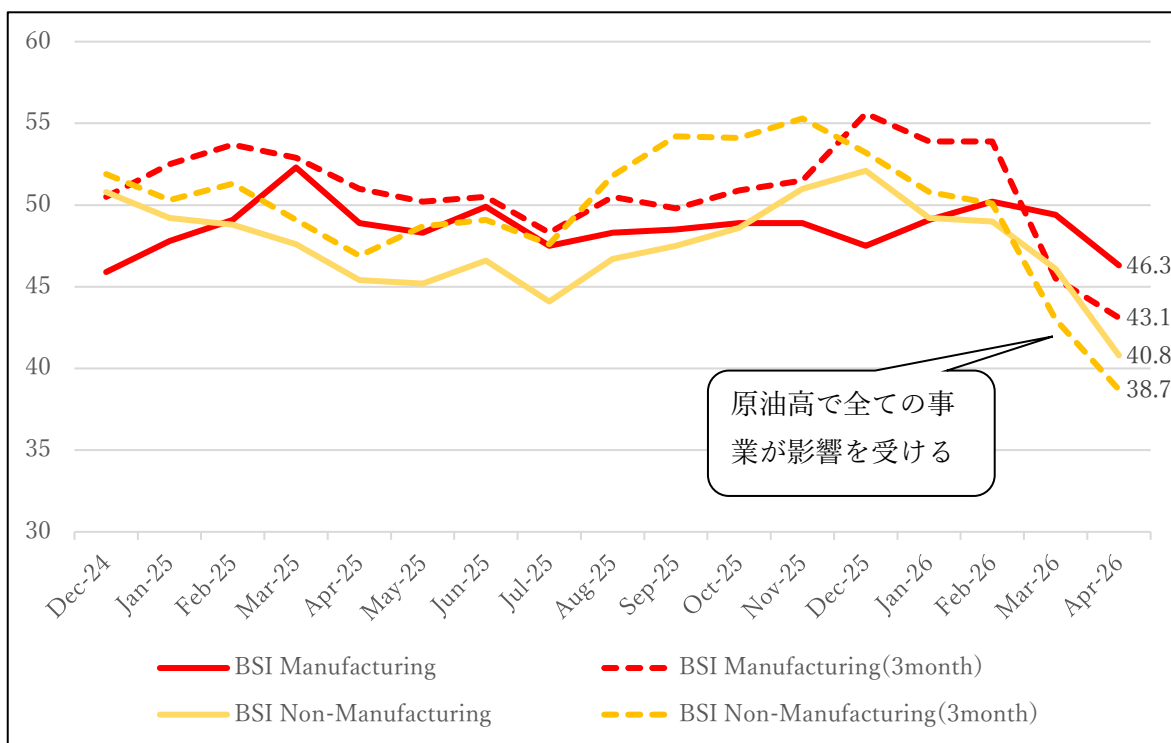
ビジネスサポート部

加藤義人

kato@mat.co.th

## ■No. 1 ■【指数データ】景況感指数

タイ中央銀行 (BOT) は、4月のビジネス景況感指数 (BSI) を発表した。下グラフは、その構成要素である製造業と非製造業の指数となる。(50 = 前月から変化なし)

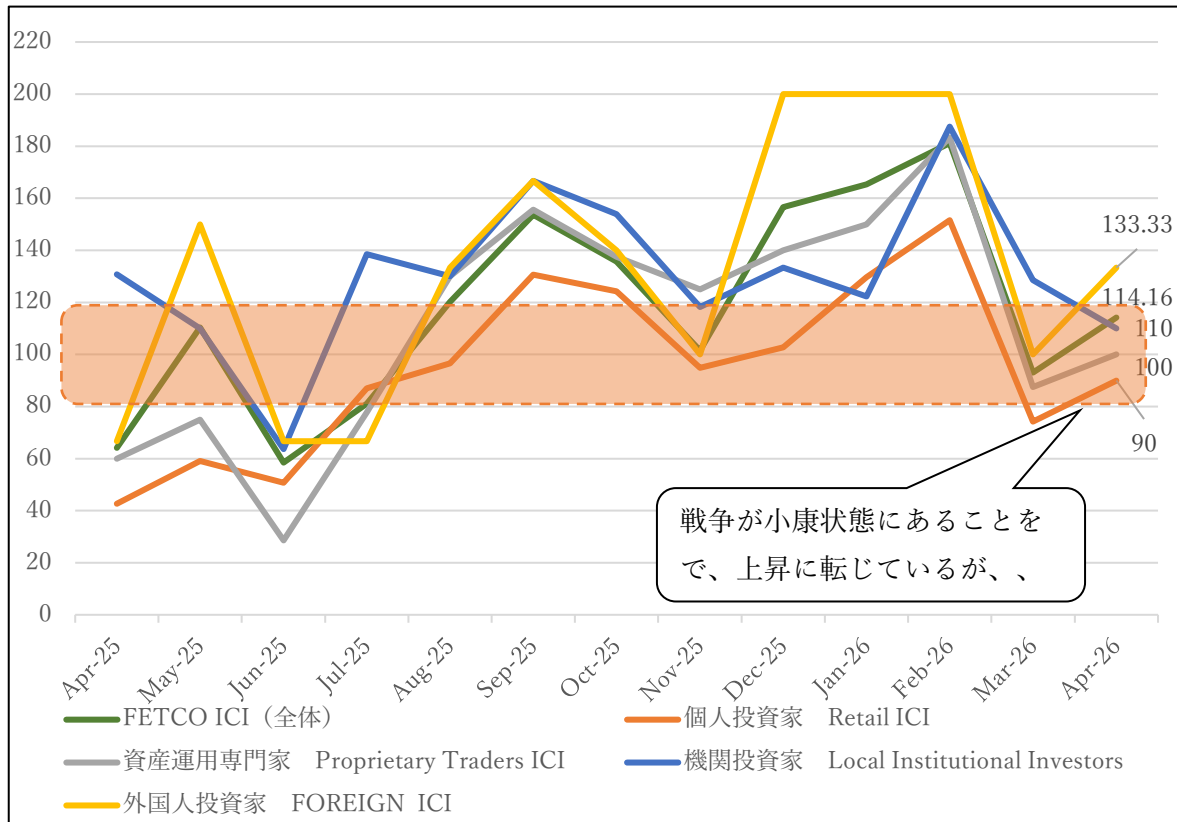


4月の製造業BSIは46.3、同三か月後の期待値は43.1、非製造業BSIは40.8、同三か月後の期待値は38.7となった。全ての値は前月から「悪化した」を示す50を下回る結果となった。大きな要因としては、中東戦争による原油の輸入が困難になったことで、製造・非製造に影響が出ていることとなる。製造業では、石油が原料のナフサや窒素化合物などが原料不足で生産量が減少している事や、ガソリン価格高騰で輸送貨物費用が高騰している事が挙げられる。非製造業では、航空機の燃料代が上昇し、運賃の値上げが始まりインバウンド・アウトバウンドで利用客の減少していることなどが挙げられている。3か月後の期待値でも同様の影響が続くと見込まれており、しばらくはこの状況が続くと思われる。

出所 : <https://www.bot.or.th/>

■No. 2 ■【指数データ】投資家信頼感指数

FETCO（タイ資本市場連盟）は、4月の投資家信頼感指数（ICI）を発表した。指数は80～120をニュートラルゾーンとし、それ以下を弱気、それ以上を強気と示している。



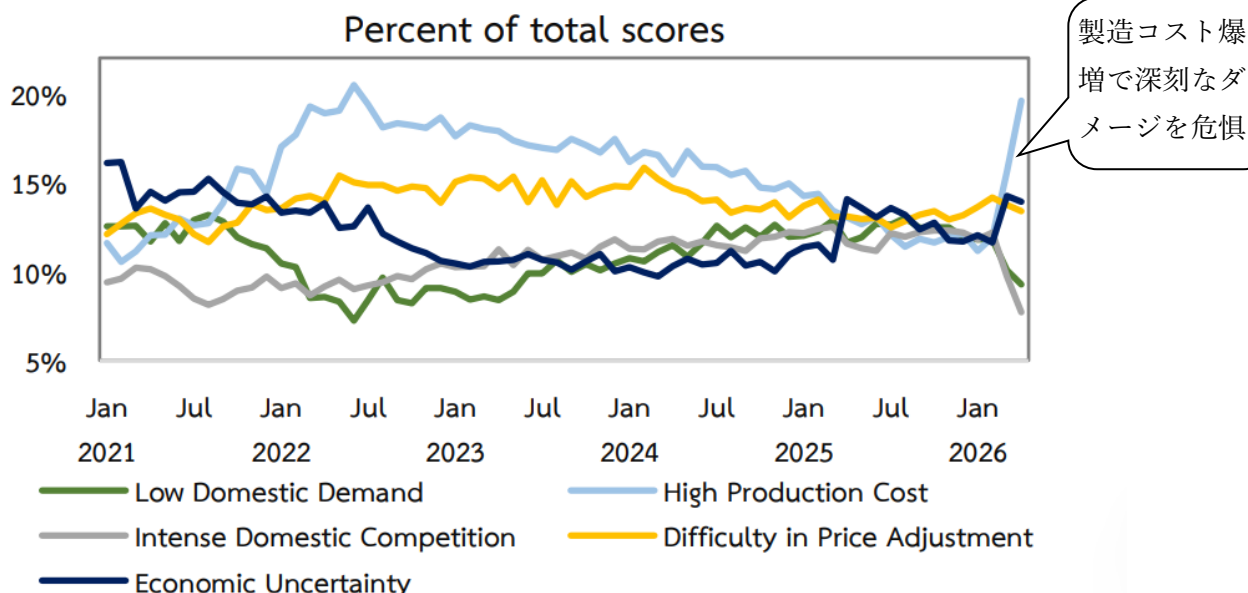
4月のICI全体は114.2となり、3月から向上した。次に個人投資家ICIは90、資産運用専門家ICIは100、機関投資家ICIは110、外国人投資家ICIは133.3となった。機関投資家以外は改善を示す結果となった。特に外国人投資家は一気に30以上指数を増加するに至った。要因として、米・イラン戦争が決着を見ないものの落ち着いている状況にあること、タイ政府の景気刺激策への期待、エネルギー関連企業株への資金の流入など、不安定ではあるものの、多くの投資家にとって、現状では大きな変化がないものの改善へ向かうのではないかと期待感を持っている。

出所： <https://www.fetco.or.th/>

## ■No. 3 ■ 【調査データ】 ビジネス上の障害アンケート

タイ中央銀行（BOT）は4月、タイ国内企業の事業継続に於ける障害に関する調査結果を発表した。これは、BOTが672社のタイ国内の大中企業に対して行った調査となる。

### Top constraints for doing business



4月の調査では、「製造コスト高」がスカイロケットのごとく上昇し、他の懸念項目を圧倒する結果となった。要因はもちろん米・イラン戦争の影響で原油の輸入が滞り、資材価格や輸送コストが激上がりしたものに起因している。一方、他の4項目は全て前月から割合を減らしていることが見て取れる。「経済の不確実性」も割合を減らす状況になっており、事業者の懸念は「製造コスト高」一点に絞られている。

出所：<https://www.bot.or.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2026 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。